

安全・持続可能な交通社会の実現に向けた協調ITSの提言

◆従来のITSの定義

最先端の情報通信技術を用いて、人と道路(インフラ)と車両とを一体のシステムとして構築することにより、交通の安全、円滑、環境、快適等に関する諸問題を解決する取組み

- ・情報通信技術の進歩
- ・膨大なデータ量の情報がクラウド技術で蓄積されるビッグデータの時代 等

◆協調ITSの評価軸(便益)

- ・安全性の向上
 - ・円滑性の向上
 - ・環境負荷の低減
 - ・快適性の向上
 - ・移動ニーズへの適切な対応
- 従来からの評価軸
- 新たな評価軸

◆今般定義した「協調ITS」

あらゆる状況下でヒト・モノ・移動体・インフラなどに関する情報が集約・共有・活用され、相互に協調したシステム

◆協調ITSの観点

- 従来のドライバー、歩行者、公共交通利用者、輸送事業者、管理者等にとどまらず、以下の観点が必要
- ・交通弱者の移動支援
 - ・地域活性化
 - ・来訪者支援
 - ・防災・減災

◆協調ITSの発展軸とその内容(各発展軸は相互に作用する)

発展軸	説明	主なサービス	将来イメージ
人	移動支援の高度化	ナビ、公共交通案内	・移動に関連する様々な情報(現状および予測、予約状況等)をリアルタイムかつシームレスに入手、最適な移動を示す提案型のサービスが実現 等
車	車両、運転操作の高度化	安全運転支援、自動運転	・自動車運転時に周辺物(車両、人、施設等)との間で、相互にその位置関係や移動の方向等を把握。 ・安全性と円滑性および低環境負荷の全てを備えた自動運転が実現 等
物	物流の高度化	商品管理	・物品量、状態、配送先等を全て把握し、発生する物流量に応じた無駄がない最適な物流計画(車両台数、車両規模、経路、時間等)が立案可能 等
道	道路運用、事業運用の高度化	交通管制、車両運行管理、料金決済	・各自動車の移動状況や道路交通の混雑状況を把握し、動的な通行料金の設定や道路の予約制度等、交通需要を分散、抑制させる施策を実施 等
行政	行政支援の高度化	施設管理、道路・公共交通計画、施策立案	・走行車両、路側のセンサー等のビッグデータを一元管理し、道路施策やまちづくり等の実施判断時の評価への活用、統計データの自動生成等を実施 等
情報	情報活用の高度化	データ共有、オープン化	・各種情報がデータ化され、プラットフォーム等により蓄積・管理され、オープン化されて産官学の多方面で活用されるようになる 等

◆協調ITSの具体化に当たっての留意点

- ・利用者視点、管理者視点からのサービスの設定
- ・サービス展開の考え方
- ・開発、導入、展開段階での課題の明確化
- ・技術開発、法制度、運営、普及まで考慮した総合的取り組み

◆横断的検討課題

- ・データのあり方
- ・画像処理技術の活用可能性
- ・デバイスのあり方
- ・インフラのあり方
- ・通信のあり方
- ・普及のあり方